

## 記事内容

- ☆連合埼玉第13回定期大会
- ☆会長主旨
- ☆第13回定期大会フォト/退任役員紹介
- ☆退任・新任役員紹介
- ☆新任役員紹介/地協ブロック連絡会、市長・町長政策懇談会
- ☆青年委員会「環境文化体験学習in屋久島」
- ☆教育フォーラム2013/12月の行動日程
- ☆あけぼのビル

～働く者みんなのために、社会の不条理に立ち向かう組織をめざす～

## 第13回定期大会開催



11月14日(木)浦和ロイヤルパインズホテルにて連合埼玉第13回定期大会を、代議員・傍聴・来賓等、約260名参加のもと開催した。

冒頭、主催者を代表し連合埼玉小林直哉会長より、「東日本大震災の被災地のことを忘れてはいけない、そして国の行動をチェックすること。2014春闘ですべての働く者の処遇改善を実現すること。日本企業のブラック化に歯止めをかけなくてはならないこと」などについての挨拶があった。(要旨は次頁掲載)

今大会では、2014～2015年度の運動方針、2014年度の予算、役員選出など全議案を満場一致で確認した。

また、大会の最後に「労働分野の規制緩和に反対し、社会的セーフティーネットの強化を求める特別決議」および「大会宣言」を採択し、終了した。

### 連合埼玉第13回定期大会での報告事項及び議事内容

#### 【各種報告】

- 1)2013年度 活動経過報告
- 2)2013年度 会計報告
- 3)2013年度 会計監査報告
- 4)特別報告
  - ①2013年度「埼玉県労働委員会」報告
  - ②2013年度「埼玉県地方最低賃金審議会」報告

#### 【議事】

- 第1号議案 2014年度～2015年度 運動方針(案)について
- 第2号議案 2014年度 予算(案)について
- 第3号議案 2014年度～2015年度 役員の選出について
- 第4号議案 顧問の委嘱について

## 連合埼玉第13回定期大会 挨拶要旨 会長 小林直哉

昨年11月の地方委員会では、連合埼玉を取り巻く課題として、6点について話をした。第1に「東日本大震災からの復興・再生」に全力を挙げること、第2に「雇用対策」が急がれること、第3は「地域協議会の強化と地域事務所の活用」を進める必要があること、第4に「国政選挙の取り組み」、そして第5に「人材育成」、そして第6に「組織拡大」であった。

一年が経過したが、残念ながら6つの課題は依然解決せず、継続課題となっている。特に、先の衆参両選挙では多くの組合員の皆さんにご支援頂いたにもかかわらず、残念な結果であった。御礼とお詫びを申し上げる。民主党の綱領にうたわれる「共に生きる社会」と私たちがめざす「働くことを軸とする安心社会」は共通したものである。民主党は一致結束し、愚直に国民、市民、地域と対話しながら政策と組織を鍛えなおすことを期待する。

そして、引き続きこれら6つの課題に全力で取り組まねばならないと決意を新たにしているところである。そこで、これら課題に関連することで、最近印象に残る3点について話をしたい。

1点目は福島第一原子力発電所事故のその後についてである。9月に福島県南相馬地区を視察する機会があり、通常の立ち入りが制限されている区域にも南相馬市の社会福祉協議会の協力を得て訪れることができた。穀倉地帯でもある南相馬は、例年であればこの時期は実りの秋で、稲穂がたわわに実っているはずであった。しかし、道中の水田は作付けがされず、草が人の背丈ほども伸び放題になっていた。改めて現地の厳しい状況とそこで普通の生活を営んでいた人たちの無念さを痛感した。住民から、「この2年半は時間が止まったようだ。今後、はたして再び時間が動き出すのか心配だ。」という声を聞いた。私たちは、これからの国の行動をチェックしなければならない。そして被災地のことを忘れずにいなければならないと考える。

2点目は、相対的貧困率にみる格差拡大と2014春闘についてである。2014春闘では、全ての働く者の処遇改善で「ストップ・ザ・格差社会」を実現しなければならない。連合では、5年ぶりにベースアップの要求を決定した。物価や社会保険料の上昇に対抗するには、賃上げは不可欠である。一部の企業だけの春闘ではなく、働く者すべての春闘にしなければならない。「今年の春闘は、いつもの春闘とは違う」と皆が実

感できる春闘にするため、連合埼玉は構成組織と連携し全力で取り組む。

3点目は、ブラック企業についてである。ブラック企業の実態を見聞きするにつれ、私たち労働組合がめざす姿の対極にある企業が多いこと、そしてそれに対抗するのに労働組合の果たす役割の重大さと、現状の労働組合がその役割を果たしていないことを痛感した。

いまこそ、労働組合の出番のはずである。組織率が2割を割り込んだ現在、多くの未組織労働者を仲間に取り入れ、日本企業のブラック化に歯止めをかけなければならない。ブラック企業の拡大とともに心配なのが、現政権の労働政策である。人口減少社会で生産性を上げるには、成長分野への人の移動が必要なのは確かなことである。しかし、この狙いの延長線上には、職種や勤務地を限った「限定正社員」、「解雇しやすい特区」などの議論がある。正社員をちらつかせて急成長するブラック企業の手法と何か通ずるものを感じる。矢継ぎ早にこうした政策が展開されることの危機感を、広く、正しく、組合員や働く仲間に伝えていく必要があると考える。

最後になるが、現在のわが国は巨大与党の政治の横暴さや経済の不安定さ、少子高齢化などに加え、震災復興やエネルギー問題、さらには外交問題にも直面している。そのすべてが、組合員の雇用と労働条件、更には生活条件に直結している。困難な時代だからこそ、皆で相談しながら大きな視野で方向性を確認し、運動していきたいと考える。連合埼玉の全組合・全組合員の知恵と力の結集をはかっていく。そして、連合埼玉は「働く者みんなのために、社会の不条理に立ち向かう組織」をめざす。



連合埼玉 小林直哉会長

来賓の皆さま

第13回  
定期大会



埼玉労福協  
宮本重雄副理事長



埼玉労働局  
代田雅彦局長



連合埼玉議員会議  
島山稔議長



運動方針を提案する  
佐藤道明事務局長



議長：鈴木照代議員（JP労組）  
小川由美代議員（電力総連）



「ネット21運動」  
NPO応援・物品助成贈呈式



団結ガンパロー

退任役員を紹介

①在任期間 ②産別・単組 ③ひとこと

前副会長 松井 健(まつい たけし)

①2009年11月～ 4年間  
②UAゼンセン埼玉県支部  
③右も左もわからず就任しました私に対し暖かくお付き合い頂きありがとうございました。在任中、産別統合もあり、連合埼玉で組織人員では一番大きな組織となりました。その責任を果たすべく努力したつもりですが、まだまだ足らざる部分が多く、申し訳なく思います。連合埼玉がより強くなるのが、産別、単組の強化に欠かせないと思います。連合埼玉が組合員、働く者にとって欠くことのできない、より頼りがいのある組織になること、その一翼をUAゼンセンがしっかりと担えることを祈念して御礼のご挨拶とさせていただきます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。



前副会長 山下 弘之(やました ひろゆき)

①2011年11月～ 2年間  
②自治労埼玉県本部  
③2年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。他の産別の皆さんと交流させていただいたことに大変感謝しております。この時期にあった未曾有の大災害、3.11東日本大震災と原発事故は忘れることができません。自治労埼玉県本部も連合埼玉による支援活動の一翼を担うことができました。もとより、復興の足取りは遅く、現在も現地被災者や避難者の苦難は続いており、今後も息が長い支援が必要であり、一層の支援活動に期待しています。所属した連合埼玉広報委員会での心残りは、「連合埼玉でもゆるキャラをつくろう」との話が進まなかったことですが、後進の皆さんに願う次第です。「働くことを軸とした安心社会」を目指す連合埼玉の活動に期待するとともに、加盟産別の組織の益々のご発展をご祈念申し上げます。



前副会長 中沢 範夫(なかざわ のりお)

①2008年11月～ 5年間  
②情報労連埼玉県協議会  
NTT労働組合北関東総支部  
③政治の取り組みにおいて、悲願の民主党政権誕生の喜びを共に闘ったみなさんと分かち合えたことは忘れられません。また、東日本大震災からの復興支援など、社会貢献活動にも携わることができたことも誇りに思います。社会情勢は混とんと波乱に満ちておりますが、「労働者が主役の世の中を創るため」連合の果たす役割は益々重要であります。連合埼玉の発展と加盟の各産別・各地協のご活躍を祈念して感謝の意を致します



前副事務局長 鶴谷 一仁(つるがや かずひと)

①2010年9月～ 3年間  
②情報労連埼玉県協議会  
NTT労働組合北関東総支部  
③3年間という短い間でしたが、皆様には大変お世話になりました。産別の枠を越え幅広い活動ができたことは、これからの人生に大きな糧となると思います。これまでの貴重な体験を活かし、産別活動の充実に期していきます。現在はNTT労組の役員としての任務についておりますので、これからは地域から連合埼玉の活動に参加して行きたいと思っております。



**前執行委員 宮崎 太郎(みやざき たろう)**

- ①2008年9月～ 5年間
- ②UAゼンセン埼玉県支部  
丸広労働組合
- ③女性組合員の多い産別として「男女共同参画推進委員会」をはじめパートタイマーの労働条件に直接的な影響を及ぼす「特定最低賃金」など仲間の皆さんに支えて頂きながら単組活動では得られない貴重な経験をさせて頂いたこと感謝申し上げます。



**前執行委員 矢作 健児(やはぎ けんじ)**

- ①2007年11月～ 6年間
- ②埼玉交通運輸労働組合
- ③在任中はいろいろな経験をさせて頂きました。この経験を単組でも活動に活かしていきたいと思っております。連合埼玉の発展を祈念いたします。ありがとうございました。



**前執行委員 小川 義寛(おがわ よしひろ)**

- ①2009年11月～ 4年間
- ②印刷情報メディア産業労働組合連合会  
凸版印刷労働組合
- ③連合活動は地協を含めて11年間携わり執行委員は4年間お世話になりました。他産別の方々と知り合い、共に活動できたことは私の『人生の宝』となりました。組合役員は退任しましたが、『働く仲間』として陰ながら組合活動をバックアップして行きたいと考えています。色々とお世話になり、本当にありがとうございました。



**前執行委員 中島 幹夫(なかじま みきお)**

- ①2008年11月～ 5年間
- ②JR総連埼玉県協議会JR東労働組合
- ③今定期大会をもって5年間勤めた執行委員を退任いたします。在任期間中は、多くの仲間と知り合え、また貴重な経験をすることができ、ありがとうございました。



**前会計監査 北澤 宏之(きたざわ ひろゆき)**

- ①2011年11月～ 2年間
- ②政府関係法人労働組合連合  
埼玉県地方連絡会議雇用支援機構労働組合
- ③2年間お世話になりました。ありがとうございました。



## 2014年度のNEW FACE

①産別・単組 ②血液型 ③住所 ④抱負

**副会長 牧田 晴充(まきた はるみつ)**

- ①UAゼンセン埼玉県支部
- ②A型
- ③草加市
- ④長年住み慣れた埼玉の地で活動が出来ることを光栄に思っています。連合は、労働組合の役割、産別としての役割、連合としての役割を、其々きっちり果たしてこそ、素晴らしい労働運動が出来るものと確信しています。連携を密にし、協調性・積極性をもって、責任ある行動をして参りたいと思います。



**副会長 持田 明彦(もちだ あきひこ)**

- ①自治労埼玉県本部
- ②A型
- ③比企郡小川町
- ④執行委員として2年間お世話になりました。このたびは、副会長と立場が変わりますが引き続きよろしく願います。組合員ひとり一人の力を合わせた大きな力で社会を変えていくために、共にがんばりましょう。



**副会長 浅見 明良(あさみ あきら)**

- ①情報労連埼玉県協議会  
NTT労働組合北関東総支部
- ②A型
- ③本市
- ④発足から25年目を迎える連合埼玉に集う仲間の皆さんとともに、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、連合埼玉の運動前進のため頑張ります。今後ともよろしく願います。



**副事務局長 小林 孝徳(こばやし たかのり)**

- ①UAゼンセン埼玉県支部
- ②A型
- ③さいたま市浦和区
- ④今まで執行委員(青年委員長)として連合埼玉の活動に携わってききましたが、今後は事務局として皆さんの期待に応えられるよう、しっかりと連合運動を前進させてまいります。20万連合埼玉に向けてご協力よろしく願います。



**執行委員 古山 亮一(こやま りょういち)**

- ①UAゼンセン埼玉県支部富士薬品ユニオン
- ②B型
- ③さいたま市見沼区
- ④他組織の活動や考え方等、あまり接することがありませんでした。執行委員という大役を仰せつかったことで、新たな視線で働く仲間のお役に立てたらと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

**執行委員 永野 勝(ながの まさる)**

- ①自治労埼玉県本部  
越谷市職員労働組合
- ②O型
- ③越谷市
- ④自治労は役所だけの組合ではありません。地域で公共サービスをしている労働者の組合です。役所が業務委託をしている委託先の民間会社の労働者も自治労の仲間、役所の中で働く臨時・非常勤等職員も自治労の仲間です。しかし、急速な非正規化、外注化の進行で組織化が進んでいないのが実態です。組合は弱い者のためにこそあると思います。共に前へ進みます。

**執行委員 佐藤 正治(さとう まさはる)**

- ①印刷労連関東北部地方協議会  
凸版印刷労働組合
- ②O型
- ③東京都板橋区
- ④いまの日本社会は、経済指標から見れば緩やかに回復し、明るい兆しにあるように感じられます。しかし、現実の社会では、雇用環境や働く環境に大きな改善が見られず、空虚感が漂っているように思います。この状況を変えることが出来るのは、唯一、労働組合であると思います。微力ながら、社会を、働く職場を元気に出来るよう努力します。

**執行委員 牧 邦夫(まき くにお)**

- ①埼玉交通運輸労働組合 うらわ自動車教習所支部
- ②A型
- ③戸田市
- ④何が出来るかわかりませんが、自分のできることを精一杯、一生懸命がんばらせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

**執行委員 西島 光昭(にしじま みつあき)**

- ①JR総連埼玉県協議会  
JR東労働組合
- ②O型
- ③さいたま市浦和区
- ④連合方針にある「不条理なことに立ち向う」とあります。私が思う事は“人間扱い”されていない現実に怒りを持つことです。貧困・格差・原発・沖縄・TPPなどきりがありません。微力ながら頑張ります。

**執行委員 矢口 昌広(やぐち まさひろ)**

- ①JR総連JR東労働組合大宮地本
- ②O型
- ③さいたま市浦和区
- ④この度、青年委員会の委員長を仰せつかることになりました。様々な、労働運動を通じ若い仲間との連帯を創り出していきます。自身の成長のためにもがんばっていきます。よろしくお願いたします。

**会計監査 西福元 浩司(にしふくもと ひろし)**

- ①印刷労連関東北部地方協議会  
共同印刷労働組合
- ②A型
- ③久喜市
- ④この度、会計監査の重責を担うことになり、微力ではありますが、自分出来ることを精いっぱい取り組んでいきます。今までの組合活動の中で、たくさんの方と知り合う機会がありました。これから人の繋がりを大事にしていき、労働運動の活力にしていきます。

**会計監査 日高 靖之(ひだか やすゆき)**

- ①政労連埼玉地連 生研センター労働組合
- ②B型
- ③さいたま市北区
- ④出身労組は生研労と言いまして、組合員数55名の小さな労組です。今回連合に関わる役職は初めての選出で、右も左も分かりませんが、微力ながら会計監査として連合埼玉のお役に立てるよう、がんばって参ります。



## 地協ブロック連絡会、市長・町長政策懇談会



北部ブロック(キングアンバサダーホテル)



東部ブロック(三高サロン)



西部ブロック(川越東武ホテル)



南部ブロック(さいたま共済会館)

10月16日(北部ブロック)、17日(東部ブロック)、22日(西部ブロック)、23日(南部ブロック)に「地協ブロック連絡会」と「市長・町長政策懇談会」を開催した。

各ブロック連絡会では、連合埼玉小林会長をはじめ、各ブロック担当副会長・執行委員、各地域協議会四役、政策懇談会には多くの市長・町長、推薦議員に出席いただき、活発な意見交換がおこなわれた。

地協ブロック連絡会では、①2014～2015年度運動方針(案)、②2013年度政策制度要求(地協統一)について説明した後、各地域協議会での政策要請の取り組みや活動報告をおこなった。

引き続き開催した「市長・町長政策懇談会」では、各市町での地方行政にかかわる問題について意見交換をおこない、都市部と周辺部で抱える問題は、それぞれ異なり、対応の難しさを改めて認識した。

# 青年委員会「環境文化体験学習in屋久島」

## ～縄文杉に逢いたい～

環境文化体験学習は、10月31日～11月3日に世界遺産に指定されている鹿児島県の屋久島を訪れ、他構成組織の仲間たちと「顔合わせ・心合わせ・力合わせ」をして、往復10時間(行程22Km)のトレッキングを体験し、共に大自然に触れ合うことにより、環境に対する意識の向上と産別を越えた交流を目的に、2年に1度開催しています。



下入 佐隆行  
(自動車総連)

縄文杉登山では大自然の中、皆が協力して登った先には他とは違う神々しさすらある縄文杉。後世に遺す大切さを感じました。一方島内ではEV普及率が高く、島民・行政が一体になった環境への取り組みにも感じました。産別を超えた交流も図れ、この様な機会を与えて頂きありがとうございました。



小岩 睦  
(JAM埼玉)

山の中腹に防空壕の後が残っていたが、大自然の中に戦時下の名残がある事に、戦禍の重みを感じました。もちろん幾年にもわたる自然の育みはものすごく、圧倒されました。今回の研修は、まさに貴重な体験の一言につきます。



北村 敦史  
(JAM埼玉)

伐採が進みつつあった屋久島の森は、島民の保護活動の上で世界遺産に登録されたと知り、自然を守るのも人間しかないと改めて感じました。また異業種の仲間もでき、とてもいい経験でした。



ウィルソン株の前で



吹野 孝史  
(自治労)

縄文杉や大自然の雄大さを目の当たりにし、自分の足が震え、自然に飲み込まれているという錯覚に陥りました。こんなにも自然は、力強く暖かいものだと思えて感じさせてもらえる瞬間でした。



篠崎 一政  
(情報労連)

縄文杉への道のりは長かったです。挫けそうになりながら、仲間たちと見た千年超えの屋久杉は最高!でした。この稀有な環境を後世まで残していかなければならないと感じました。仲間と天候に恵まれた体験学習でした。



川島 貴至  
(運輸労連)

初めての参加でしたが、千年を遥かに越える屋久杉の力強さを見て、素晴らしい交流ができました。テレビや本でしか見た事のない憧れの場所で本当に貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



小林 孝徳  
(UAゼンセン 埼玉県支部)

今回、2回目の参加をさせて頂きました。前回はあいにくの天気でしたが、今回は晴天の中、登ることができました。晴天のおかげで、前回見ることが出来なかった多くの自然を感じることが出来、特にエメラルドに輝き、透き通った川には驚かされました。また参加者全員が励まし合いながら登ることで連帯感が出来とても貴重な経験となりました。



笠井 翔太  
(JAM埼玉)

幸いにも天候に恵まれ、縄文杉まで雨に降られることなく辿り着く事が出来ました。道中ではリタイアしそうな仲間をみんなが進んで助けていて、チーム一丸となつての登山に胸が熱くなりました。



縄文杉に辿りつきました



権名 邦充  
(自治労)

縄文杉ハイクでは、途中で足が痙攣するなど一時這って登ったりしました。1人では挫けてしまったかもしれませんが、小林青年委員長をはじめ仲間に助けられ無事目的を果たすことが出来ました。とても良い経験になりました。



羽鳥 伸行  
(JP労組)

仲間たちと助け合い、励まし合いながら無事に縄文杉にたどり着くことができました。雄大な自然の中で活かされている事を肌で感じ、何代にも渡って生い茂る杉を見て労働運動も後世に伝えていくんだと感じました。



鈴木 健司  
(情報労連)

参加者との交流、屋久島の自然環境学習と中身の濃い4日間でした。山では屋久鹿や屋久猿、一方海岸ではウミガメの産卵する砂浜など、美しい自然が残る島でした。この自然環境を皆で守って行くことが大切と感じました。

## 教育フォーラム2013

### ブラック企業の実態とその対応 ～今こそ重要な労働に関する教育～

2006年よりスタートした『教育フォーラム』を、今年も連合埼玉、埼玉労福協の共催で11月1日(金)さいたま市の「ときわ会館」で開催した。

#### 【開催概要】

今回の『教育フォーラム』は、若者自身で若者の労働相談、労働法教育、調査活動等を実施している、NPO法人POSSE(ポッセ)代表の今野晴貴氏に、今、社会問題となっている「ブラック企業の実態」と過酷・不当な労働環境から身をまもるために、若者自身がなすべき対応や、学校・家庭・企業や労働組合などに求められる対応や役割について講演をお願いした。構成組織、地協・地域労福協を中心に147名が参加した。冒頭、連合埼玉小林会長(埼玉労福協理事長)の主催者あいさつの後、講演がスタートした。

以下、講演内容の抜粋である。



NPO法人POSSE代表 今野晴貴氏

#### <講演内容>

就職して3年以内に離職する若者が3割を超え、その内7割が自己都合退職扱いになっている。失業保険の手続きをする者も少ない実態がある。この原因のひとつに「ブラック企業」の存在がある。ブラック企業は、新興産業に多く見られ、組合もなく、労使関係が不在で、正社員でも長期雇用の保証もなく使いつぶし状態である。ブラック企業は、公害問題と同様社会全体の問題として、是正する必要がある。普通にまじめに働き、普通の生活ができる雇用形態を確立すべきである。

そのため、不当な労働環境から身を守るための「働くことに関する教育」やブラック企業の「労働組合の組織化」が重要である。

### 現在予定される12月の日程表です

12月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	日	
2日	月	全労済「協同組合運動体験学習」(~2日・神戸)
		①埼玉シニア連合第1回三役会(14:00~・連合埼玉会議室) ②埼玉シニア連合第1回幹事会(15:00~・連合埼玉会議室)
3日	火	
4日	水	連合第66回中央委員会(10:00~・ホテルイースト21東京) 「働きがいのある職場づくり」シンポジウム(14:00~・大宮ソニックシティ)
		①女性委員会「第10回幹事会」(10:00~・あけぼのビル501) ②女性委員会「第25回定期総会」(あけぼのビル501)
5日	木	埼玉労福協企画委員会(10:00~・ときわ会館)
6日	金	県央地域協議会「第6回定期総会」(18:15~・東武バンケットホール上尾)
7日	土	
8日	日	
9日	月	
10日	火	①国公総連埼玉「第22回定期大会」(18:30~・with youさいたま) ②朝霞・東入間地域協議会「第5回総会」(18:30~・ふじみ野市産業文化センター)
		全国一斉労働相談ダイヤル(~12/11)
11日	水	①西部第四地域協議会「第6回定期総会」(18:00~・ヘリテージ飯能) ②本庄・児玉郡市地域協議会総会(18:30~・本庄市中央公民館)
12日	木	東部地域協議会定期総会(18:30~・アクシス春日部) 平成25年度第2回埼玉地方労働審議会(9:30~・ホテルプリランテ武蔵野)
13日	金	①連合関東ブロック女性代表者会議(14:00~・ホテルラングウッド) ②連合関東ブロック「第24回総会」(16:00~・ホテルラングウッド)
14日	土	
15日	日	
16日	月	
17日	火	
18日	水	川口・戸田・蕨地域協議会「第4回定期総会」(18:00~・川口労働会館)
19日	木	ネット21「第5回運営委員会」(9:30~・連合埼玉会議室)
20日	金	①埼玉労福協理事会(15:00~・ときわ会館) ②比企地域協議会「第25回総会」(18:00~・紫雲閣)
21日	土	ネット21「インターンシップ体験報告会」(10:00~・あけぼのビル502)
22日	日	
23日	月	
24日	火	
25日	水	
26日	木	
27日	金	
28日	土	年末年始休暇(~1/5)
29日	日	
30日	月	
31日	火	

# あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

## ―第13回定期大会を振り返っての感想は?―

私たちを取り巻く環境は、10年前の「連合評価委員会報告」が提起した状況から改善されておらず、未だ危機に直面している。だからこそ、連合埼玉結成の原点に立ち返って運動を進めていく必要がある。定期大会では、そのことについて共通認識がはかれたと思う。さまざまな課題が山積する中で、今後2年間の連合埼玉の運動について決定をいただいたことに改めて感謝申し上げる。

## ―今後2年間の運動方針のポイント?―

社会的に拡がりのある労働運動をめざし、大衆行動などを組織し、社会的なうねりをつくりだす運動に取り組む。そのためには、連合が「働く者みんなのために社会の不条理に立ち向かう組織」として社会的ポジションを確立することが必要である。また、仲間を増やし、弱い立場にあるものを結び、運動への参加促進を強め、他団体などとの連携をはかり、社会的影響力を強めるために、「20万連合埼玉」達成に向けた取り組みを、その根幹に位置づけ運動を進める。

## ―7つの具体的に取り組む運動課題のポイント?―

その1は、政策制度の取り組みである。労働と生活の質的向上をはじめ、人と人とが信頼でつながる地域社会づくりを推進する。特に、政策制度改善要求の具体的内容の検討にあたっては、私たちの労働や生活に直結する政策課題にもっと目を向け、さらには、その実現力をどのように高めていくかがポイントである。県や労働局等の審議会での発言はもとより、推薦・友好首長や推薦議員との連携を強化し、連合埼玉の発言力を高めていかなければならない。

その2は、雇用・労働に関する取り組みである。2014春季生活闘争は連合の方針を踏まえ、地方連合会の役割である中小・地場組合、未組織労働者の支援に取り組む。また、賃金の底支えとセーフティーネット機能となる最低賃金は、雇用戦略対話の合意を踏まえ、連合リビングウェイジの水準を重視し、早期800円の実現をめざす。しかし、何と言っても直近の課題は、働く者の犠牲の上に成長戦略を描き、労働者保護ルールを改悪しようとする動きを断固阻止することである。

その3は、組織の強化および拡大である。地域に根ざした顔の見える運動を地域協議会と4つの地域事務所の連携で進めていかなければならない。特に地域における組織拡大や中小・地場組合への支援、さらには政策提言力の強化について、具体的にどのように取り組んでいくのか、早期に検討を進め実行に移していかなければならない。そして、何と

言っても「20万連合埼玉」実現に向けた取り組みである。しかし、従来と同様の取り組みでは、減少する組織人員に歯止めをかけることすら厳しい状況であり、発想の転換や思い切った活動をおこなわなければ、「20万連合埼玉」の実現は極めて厳しいことは言うまでもない。絵に描いた餅とならぬよう肝に銘じて取り組んでいく。

その4は、広報宣伝活動である。組合員はもとより、広く県民にも共感をよぶ戦略的な広報宣伝活動に取り組みなければならぬ。今までも春季生活闘争をはじめ、時々の課題について街頭宣伝活動を実施してきたが、私たちの訴えは県民の心に響いたのか、自己満足で終わってはいなかったか、改めて広報宣伝活動のあり方について検討が必要である。

その5は、男女平等参画社会構築に向けた取り組みである。連合埼玉「第3次男女平等参画推進行動計画」の評価と新たな行動計画の策定とその実践。雇用の全ステージにおける直接差別の是正と男女平等の実現に取り組む。また、女性の労組リーダーの育成にも力を傾注する。

その6は、政治活動である。健全な議会制民主主義が機能する政党政治の確立、労働者・生活者を優先する政治・政策の実現、与野党が互いに政策で切磋琢磨する政治体制の確立に向け、政権交代可能な二大政党的体制をめざす。そのためには、今日の政治情勢を踏まえて、政治活動の必要性や政党および政治家への支援について、組合員への理解・浸透を深める取り組みをおこなうことが重要である。

その7は、平和運動をはじめとする連帯活動の取り組みである。連合の平和運動に積極的に参加するとともに、平和の尊さや戦争の悲惨さを次代に継承する取り組みとして、連合埼玉「平和集会」を開催する。さらには、労働組合の社会的責任として、東日本大震災からの復興・再生に取り組む。特に、県内に避難されている方々の生活・雇用など、生活再建を支援する。

## ―運動方針をどのように展開するのか?―

何よりも労働運動の現場が動き、結果を出すために、求心力のある旗を掲げ、各級レベルの運動の連動で連合運動総体としての前進をはかることが必要である。連合埼玉、構成組織、加盟組合、地域協議会が横断的に連携しつつ、それぞれの責任と役割を果たし、スピード感を持って運動を展開していくことが重要となる。引き続きの協力をお願いしたい。

2013.11.22インタビュー  
副事務局長 増田貴也